



科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)
<http://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

生物シリーズ

-世界三大美蝶の1つ・世界最大のチョウ-

トリバネアゲハ類の多様性

Diversity of Birdwing Butterflies

姫路科学館 学芸・普及担当 相樂 充紀

姫路科学館にはトリバネアゲハ類の標本が約 8,500 頭収蔵されています。質・量ともに世界屈指の有名なコレクションです。姫路城など多数の文化財復元に携わった瓦職人・小林平一氏 (1923-2002) が収集した鳥やほ乳類などの標本を含む膨大なコレクションの一部です。科学館が引き継ぎ、標本の整理・管理・展示をしています。

その美しさ・大きさから、世界中の愛好家に大人気のトリバネアゲハ類を紹介します。

■トリバネアゲハ類とは？

アゲハチョウ亜科の、トリバネアゲハ属、アカエリトリバネアゲハ属、キシタアゲハ属の3属のチョウを広義のトリバネアゲハと呼びます。科学館では3属を総称して「トリバネアゲハ類」と呼んでいます。英語では「バードウィング・バタフライ」と呼び、漢字で「鳥羽揚羽」と書きます。熱帯雨林の樹冠の高いところを速く飛ぶので採集が難しく、昔、散弾銃で撃ち落と

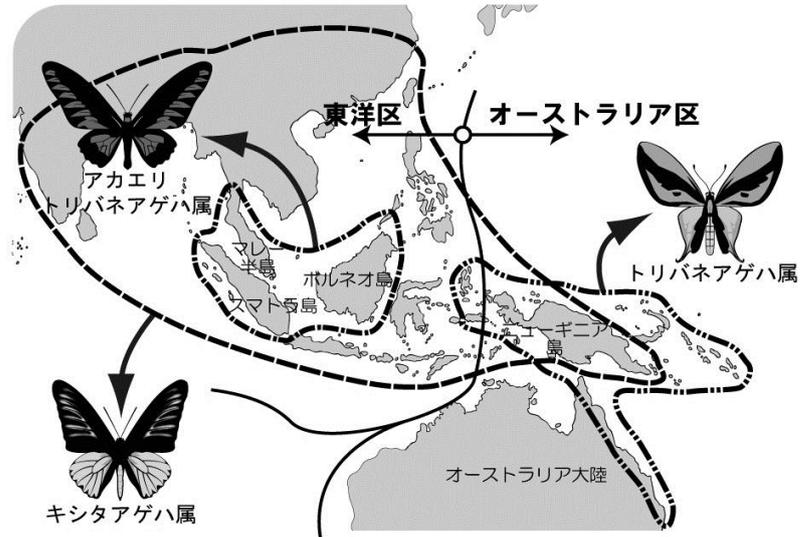


図1 トリバネアゲハ類3属の生息域と生物地理区

した個体が大英博物館に重要標本として厳重に保管されています。現在、トリバネアゲハ類の標本の多くは、人工採卵し、飼育下でふ化、羽化させたものが取引されています。

生息分布は、東洋区とオーストラリア区の動物地理区をまたがっています。マレー半島～オーストラリア北東部の間の大小多数の島々に生息し (図1)、種分化しているため、進化や豊かな生物多様性を知る上で、重要な役割を果たすのがトリバネアゲハ類です。

■トリバネアゲハ類と近縁な姫路市蝶「ジャコウアゲハ」

トリバネアゲハ類はジャコウアゲハと同じキシタアゲハ族に属し、分類的に近縁です。トリバネアゲハ類は幼虫がウマノスズクサ科の植物を食べたり、サナギがお菊虫を大きくした形をしていたりするなど、ジャコウアゲハと近い仲間だということも納得です。

■トリバネアゲハ属とは？

属名 *Ornithoptera* といい、意味はラテン語で「鳥の羽」を意味します。4 亜属 12 種に分化し、生息域は広範囲のものや局所的なものなど、種・亜種によって多様です。パプアニューギニア島では、7 種の生息域が重複しているところもあります。種分化による豊かな多様性と局所的な生息域の保護・保全には、乱開発や乱獲の防止対策が必要です。

オスは種ごとに色や形が大きく違いますが、メスはオスに比べて地味でどの種もととても似ています。トリバネアゲハ類は、幼虫時代にウマノスズクサ科の植物を食べ、体内に毒をため込む「毒チョウ」で、鳥などは食べてもまずいことを学習し襲わなくなります。同じ地域の「毒チョウ」同士が互いに似ることで、鳥など捕食者が学習する効果を高めていると考えられており、これを「ミューラー型擬態」といいます。

写真1は、アレキサンドラトリバネアゲハのオスです。パプアニューギニアに局所的に生息し、絶滅が危惧されワシントン条約付属書Iに指定されており、現在、捕獲・取引は厳しく制限されています。メスはオスより大きく、開長（両翅を広げた幅）が約28cmになり、世界最大のチョウといわれています。



写真1 アレキサンドラトリバネアゲハ



写真2 アカエリトリバネアゲハ



写真3 コートキシタアゲハ

■アカエリトリバネアゲハ属とは？

属名 *Trogonoptera* といい、意味はラテン語で中米の華麗な鳥の「キヌバネ鳥」に因んでいます。1 属 2 種で、亜属はありません。2 種は、アカエリトリバネアゲハ（写真2）とパラワンアカエリトリバネアゲハです。首の赤帯が名前の由来で、黒い羽にシダのような緑色の模様が特徴的です。オスは湿った砂地で100頭ほどの大集団で吸水するので、採集しやすいのですが、メスはこの地上吸水を行わないので採集が困難です。特にグライダーのように滑空して飛ぶ姿は印象的です。オスとメスでは、サイズ、色、形の差が少ないです。

■キシタアゲハ属とは？

属名 *Troides* といい、意味はラテン語で「トロイ王の息子あるいは娘たち」を意味しています。キシタアゲハ亜属（19種）とサビモンキシタアゲハ亜属（1種）の2亜属に分かれています。図1の通り、生息域は東洋区とオーストラリア区の両方の生物地理区にまたがる広範囲です。オスの後翅が鮮やかな黄色をしていることから「黄下揚羽」と書きます。コートキシタアゲハのオス（写真3）の後翅の様に、構造色で黄色い部分が角度によりCDのように光る種もあります。メスはオスより大きく、黄色い模様が小さいです。

■企画展「トリバネアゲハの多様性」を2017年3月11日（土）から開催！

科学館ではトリバネアゲハ類を整理同定し、標本情報を地球規模の生物多様性情報データベースに登録しました。標本一覧は収蔵資料目録3号・4号として刊行しています。

これまで常設展示2階の企画コーナーで速報的に展示解説を行ってきましたが、今回、企画展を3月11日（土）～4月9日（日）に開催します。科学館収蔵トリバネアゲハ類標本を一堂に多数展示し、生息地、種分化、亜種などの解説や生態写真スライドも加えて公開します。企画展を通じて、生物多様性について関心をもって頂ければ幸いです。